

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルーム UTキッズ三田コネクト			
○保護者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2025年 12月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2025年12月27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども・保護者の、利用の満足感	・個別支援の中で、それぞれのお子さんに合った課題提案を行い、「できた」という成功体験を積み重ね、主体的に取り組む力の育ちの促しを行っています。 ・保護者支援にも力を入れ、療育後のフィードバックや、必要に応じて相談の時間を設けさせて頂いています。またホームワークの提案、毎月のイベント等、家庭と連携した育ちの促しにも力を入れています。	より支援を充実できるように、研修などで専門知識をつけると共に、会議や情報交換を通して、それを実際に落とし込んだり、柔軟に取り組めるように力を入れていきます。
2	保護者との支援内容の共有	必ず、利用開始時と6か月に1度は面談を通して、ニーズやお子さんの困り感、療育のアセスメントをもとに目標や支援内容を明確化しています。また毎回の療育後のFBでは、出来ている（良い）所をに向けた振り返りや、発達の状況や課題、支援の共通理解の更新を行っています。	療育後のFBの時間内では対応できない様な相談については、「家族支援加算」での相談をおすすめし、より気軽に、じっくりと相談できる体制をとっていきます。
3	支援の専門性	毎週の遊具研修会や、月1回以上の定期的な研修会を通して、より専門性をつける取り組みを行っています。また、療育時には担当交代をして情報共有を図ったり、全職員間でモニタリング機会を作る事で、多様な視点の照らし合わせや、専門知識を柔軟に活用し、より良い支援の提供が行えるように努めています。	研修による知識獲得だけでなく、活用したり、より多角的にみれるように意見交換の場を作り、アウトプットすることに力を入れていきます。また、外部支援を行ったり連携を努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園・学校、他事業所との連携	多くの時間やマンパワーを要する為、保護者の要望や、就学前等の連携の必要に応じて、優先順位の高い方に限定して行っている状況です。	引き続き人材の確保に努め、時間やマンパワーが確保できるようにします。また連携の必要性や効果的な方法を、研修や、同行の中で学び続けていきます。
2	保護者同士の交流機会が少ない	個別療育により、保護者の交流の場に繋がりにくい為、毎月のイベントを通して、交流の機会となるように工夫をしているが、活動や場所によってはしにくい事もあり、機会が少ないです。	イベントでは、保護者や兄弟児が参加できる活動や、保護者同士の交流の場の機会の提案なども、今後行えるように工夫をしています。
3	子どもの活動スペースの確保	活動内容や、お子さんの様子によっては、大きくスペースを使う事で、並行利用児の活動や、したい思いの制限が生まれる事があります。	遊具庫の整理や、必要のない遊具の撤去等、整備できる所から、職員間で取り組んでいます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 UTキッズ三田コネクト

公表日 令和8 年 2月 1日

利用児童数 40名

回収数 15部

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設も、先生にもこどもも共々満足しております。</li> <li>・もう少し広い活動場所だと嬉しい。</li> <li>・UTキッズと比べるとコネクトは少し狭く感じる。真ん中の大きな柱も邪魔に感じる。</li> <li>・いくつかの設備を三田店と共有してはありますが、それが逆に新しい課題をすることができたりもして良い刺激になっています。</li> <li>・空間を上手に分け、並行児さんとも別の課題に取り組んだりもできていると思います。</li> <li>・未就学児は良いけど小学生には少し狭いかなと思った。もう一つの施設を見学した時にそちらの方が広かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容によってスペースを使うことで、並行利用児の活動に制限が生まれる事がありますが、その際には、そのスペースでもできる、お子さんの特性や様子に応じた提案が行えるように工夫をしています。</li> <li>①柔軟に活動の提案や対応が出来るように、毎週の遊具研修や、他研修を行い、支援の幅を広げています。</li> <li>②お子さんによってはぶつかるなどの危険に繋がらないように、マットや遊具・柱で区切るなどの環境を設定をしています。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・息子に1人先生が付いて下さってマンツーマンで安心しております。</li> <li>・マンツーマンで指導頂いており、イベント時なども複数の先生が対応していただいています。</li> <li>・活動中に少し空間を離れる際にはスタッフさんにヘルプに来てもらったりとしっかりご対応いただいています。</li> <li>・子ども1人に対し職員が2人つくこともあり、充分だと思う。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内の床から、天井まで様々な道具が設置されており、それ以外にも、物置から道具も出していただけ、見たことも触ったこともない物に触れられて刺激をいただいております。</li> <li>・全体的に幼稚園などにありがちな掲示物が多くはないことと、廊下などの狭い待ちの場所も座る場所とおもちゃで遊べるところと分かりやすく、準備まで短時間で出来る。またそこを暗くして落ちてから明るい活動場所での身体を動かすスイッチになっていると思う。</li> <li>・情報伝達等への配慮についてはわからない（不便だったり配慮がないと思ったことはない）。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく、清潔感もあり、見学スペースまであるので助かっております。</li> <li>・手洗い場にステップが用意されている。</li> <li>・温度調整や空間の視覚的環境もしっかり計画されています。</li> <li>・お部屋の待ち合いスペースにいろいろなおもちゃがあることで子どもは待つ時間も楽しく過ごせています。</li> </ul>	

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度、気になることなど相談も聞いていただけ、話しかけやすい雰囲気を作っていたので助かっています。</li> <li>・毎回子供自身の成長とポイント（どこを伸ばす目的の活動であったか）について教えていただけるので、すごく助かっています。</li> <li>その上で、家でこんな遊びに転換できるなどの高いレベルのサポートが受けられていると感じています。</li> <li>・子供の発達に関してちょっとした困ったことや悩みに対して、専門家からのご意見を伺えて助かります。</li> <li>・子どもの能力が伸びているのを感じる。</li> </ul>	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携を取っていただけてると感じます。</li> <li>・運動を通して、感覚統合や筋力が育ったと感じています。</li> <li>・感覚統合療法に関して、この地域で一番理解が深い事業者と思ってましたがその通りでした。</li> </ul>	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私達の意見もきちんと組み込んでいただけています。</li> <li>・説明の中で、十分に子供の過去、現在、未来を見据えた上でのお話や、現場ベースで子供の伸びてきた部分などの両面からの説明を受けました。</li> <li>・子供の動きや性格、発達段階、悩みに合わせた支援計画書を作っていただけます。</li> </ul>	
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただけています。</li> <li>・本人支援、家族支援については満足しているが、移行支援を私自身がうまく使えてない。イヤーマフの導入の時に、大変だったので移行支援を使えばよかったのかなと思います。</li> </ul>	
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の取り組みの中で、それ以上に提案していただけることもあり、とても助かっています。</li> <li>・並行児が人と関われるタイプの子だったため、一緒に遊んだり、断られたりなどの経験を積んでいる。また、体力、感覚の方もすごく伸びました。</li> </ul>	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨機応変に対応してくださっております。</li> <li>・子の自発的な遊びを尊重しながらも挑戦できそうな課題の提供をいただけています。初期の頃はごっこ遊びしかしなかったのが、身体を使った遊びやチャレンジに自体に興味を示すようになりました。</li> <li>・その日のタスク課題を取り入れることで、同じような本人の好きな課題だけに偏らないようにとても工夫されていると思います。しかも、お部屋の入り口に掲示されていることで入室前に本人も確認できるので見通しも立ち、嫌がらずにそのタスクに取り組めていると思います。</li> </ul>	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	4	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館や、公園で、同級生の子とその兄弟さんも交えて、よく遊ばせていただいております。</li> <li>・幼稚園ではあります。こべっこひろばへはたくさん連れて行ってますが知人がいた時だけ並行遊びをしてました。</li> <li>・まだ利用し始めてすぐなのでわかりません。</li> </ul>	支援の中に、直接の交流の機会は設けていません。今後イベントの中で、地域の方との交流など、検討していきます。

保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2	0	0	・疑問などはなく、きちんと説明いただいております。 ・利用をはじめた1ヶ月間がまだ4歳になっていなくて、保護者負担があったが、その説明が適切でなかった。無償化対象であると説明されていた。	・料金の説明など、適切でなかった対応が今後起こらないように、利用開始前に相談支援員や他事業所間で確認を行うようにしております。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	1	・わかりやすかったです。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	0	4	・興味はありますが、参加はしたことがありません。 ・とても為になりました。 ・利用し始めてすぐなのでわかりません。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0	・意志疎通出来ていると思っています。 ・三田市の家庭児童相談室との連携をとっていただいているので、状況説明をわたしからしなくても相談室を通じて共有していただいて本当に助かっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	2	・とても、親身になって話して下さいます。 ・小さな悩み事も時間を取って頂けるので有り難い。 ・毎回、トレーニング内容についてのフィードバック面談はある。だが、普段からの困り事について話す余裕はなく、頼りになる先生方の意見をもっと聞けたらなと感じる。 ・活動後のフィードバックのお時間にちょっとした相談もできやすくて大変助かってます。 ・まだ利用し始めてすぐなのでわかりません。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0	・とても感じます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	3	5	・UTキッズさんの月1のイベントで姉弟参加を初めて経験しました。お姉ちゃんも一緒に参加出来て喜んでいましたし、私も他の親御さんとお話出来、とても充実した時間を過ごさせていただきました。 ・保護者会などはいまのところ、聞いたことがないです。 ・屋外でのイベント時に他の保護者の方との交流の機会があり勉強になりました。 ・まだ利用し始めて間もないのでわかりませんが、保護者同士の交流できるような場を作っていただけたら是非とも参加したいです。お願いいたします。	現在イベントを通して、保護者やきょうだいの参加できる活動を行っており、交流の方法については検討を重ねています。今後、それを含めて周知が出来るように行っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	1	1	・されています。 ・体制が整えられていることを知りませんでした。 ・いつも「何かあったらご連絡ください」と言ってくださって、とても心強いです。 ・	ご利用開始前の重要事項説明書にて、「家庭支援加算」での相談の受け付けや、その仕方の説明をさせていただいたり、毎回の療育後のFBの内容により、その利用の案内をさせて頂いています。ただ、周知不足という結果を受け、相談の受け入れがしやすい体制や周知方を再検討していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0	・とても感じます。 ・玄関口などではなく、しっかりとお部屋の中で対面でお話しするお時間をとってくださるので落ち着いた情報を共有しやすいと思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	3	0	1		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	1	2	・我が子は訓練の日じゃなかったため、受けてない。全員が参加ではないことが残念に思う。 ・まだ利用し始めてすぐなのでわかりません。	火災・防犯・不審者対応の訓練や研修・その報告も行なっていますが、周知が不足している結果となったため、周知方法の再検討を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2	0	5	・貼り紙を掲示されているのを見て安心してました。 ・半年で一度だけそのような訓練をした掲示をみかけたが、その他やっていたのかいないのかわからない。 ・その場に遭遇していないのでわかりません。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	2		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	1	・ついてくれる職員が変わってもいつも楽しく過ごしている。	
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0	・毎回数UTさんに行くのいつ？と楽しみにしてます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	・プロならではの支援方法や充実した設備に助けられています。何より子どもの運動に対する姿勢が肯定的なものになりつつあり、子どもの長い人生に於いて重要な学習の場になっています。このような機会を提供して頂きありがとうございます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。 ・利用(契約)前に子どもが何気なく言った少し心配な気持ちの一つひとつに寄り添い、少しでも不安がなくなるように対応いただいて本当にありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		UTキッズ三田コネクト				公表日		令和 8 年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・利用者2名で行うにあたって、スイングと他の遊具の使うスペースが区切りやすく、活動に合わせた十分な広さを確保できています。 ・並行児がいる時など、区切りながらお互いの空間を大事にスペースをとろうとすると、狭さを感じる場面もあります。	・活動内容によってはスペースを使うことで、並行利用児の活動に制限が生まれる事がありますが、その際には、そのスペースでもできる、お子さんの特性や様子に応じた提案が行えるように工夫をしています。 ①柔軟に活動の提案や対応が出来るように、毎週の遊具研修や、他研修を行い、支援の幅を広げています。 ②お子さんによってはぶつかるなどの危険に繋がらないように、マットや遊具・柱で区切るなどの環境を設定をしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・児童サービスに関しては、加算以上の人員を配置しており、療育のメイン担当、必要であればサブ担当が入り、受付の担当や、健康確認する者などそれぞれ手分けして行えるほどの、十分な配置数となっています。 ・放課後等デイサービスの時間帯での職員人員は不足しています。	・放課後等デイサービスの時間帯に職員人員が不足する場合は、近くにあるUTキッズ三田の事業所職員に手伝いを依頼しながら対応しています。より安心したサービスを届けられるように、今後も配置を検討し対応していきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・療育室、学習室（課題をする部屋）と分けられており、目的に応じて部屋を区別し、わかりやすいです。 ・玄関から療育室へ、療育室から学習室へ、学習室から玄関へと、わかりやすい導線となっており、特性を踏まえた環境設定ができています。 ・各空間は役割の応じて扉で区切られ、物品も異なるために、分かりやすく構造化されています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日掃除、消毒を入念に行っています。また季節によっては加湿器などを活用して子ども、保護者の方も快適に過ごせるよう心がけています。またお子さんの感覚や身体の発達に応じた働きかけを提供できる環境となっています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・療育室の横に個室があり、情緒の様子や、感覚過敏などの特性に合わせた提供が行えるようになっており、その日の状態に合わせて、移動し調節する事で落ち着いたという成功体験を積んだり、徐々に自分で調節できるような働きかけも行っています。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・週一回のミーティング、月一回の面談等、提案・検討事項等、意見を述べる機会が設けられています。特に毎週ミーティングでは、業務改善に関わる検討の時間をとっています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・年1回実施し、業務改善に繋がっています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎週ミーティングを行っています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・わかりません。 ・第三者により外部評価は行っていません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・法人内では、新人研修、フォローアップ研修等各課題となる内容に対し、研修を実施しています。 ・また業種によりOT研修会や、専門研修、管理者研修なども実施し、その他、学習や保育所等訪問支援等、各項目の内容の研修も行っています。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・HPに公表されています。				

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5	0	・普段の療育での活動の様子や、発達記録、保護者のニーズの聞き取りを通して、適切にアセスメントを行い計画書を作成しています。 ・個々の子供のアセスメントを行い、保護者のニーズと照らし合わせて療育に励んでおり、現在、支援計画はまだ作成していません。	
13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・ほかの職員からの情報も入れながら、児童発達支援管理責任者と担当指導員との会議をしています。またその後指導員全員で情報共有・検討を行っています。	
14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・作成後に、指導員全体での会議を行う事で、情報共有や評価を多角的に行うと共に、支援の共通理解に努めています。 ・支援前にカルテを閲覧することで確認や共通理解を図っています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・JSI-Rの検査の使用しフォーマルなアセスメントを行い、観察や保護者からの情報（FB時に行う、療育だけでは見られない子供の日々の行動の聞き取り）といったインフォーマルなアセスメントを使用して確認している。	
16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・全項目設定し、支援内容が設定されている。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・日々記録を読んで情報を共有した上で、他の指導員と相談したり、担当に確認を取りながら、活動プログラムを中心に考えています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・遊具研修をしたり、他指導員の遊びを見学しながら工夫をしています。 ・他の職員と相談をしたり、ケース会議などで発表することで、支援プログラムが固定化しないように幅広い視野を持つよう心がけています。 ・お子さんのその日の状態や、状況に合わせ、子どもの能動的な活動を引き出し課題挑戦に向けていくプログラムを行っているので固定化は問いません。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4	1	・月1回のイベントでは集団活動を組み合わせた支援をしています、普段の療育では個別活動が中心です。 ・個別活動を中心に行いながら、並行利用児との関りの様子や、月1回のイベント活動にて小集団での活動の様子や状況を把握し、適時組み合わせた計画書を作成しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・並行児との関わりにおいて、課題がある児童に関しては、並行児の担当スタッフと事前に情報共有や協議の上、支援を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・上記、または並行児に入っていた担当同士で聞き、気づくことや気になることがあれば、互いに共有したり振り返る時間を作るようにしています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々記録は原則入力するようにしている。その日の支援を振り返り考察し、それを通じて次回の支援の検討や改善に努め、目標に向けて必要な支援の精査を行っています。	



関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・6か月に一度、モニタリングを行い、計画書の立て直しを行っています。また必要に応じて、家庭連携加算のサービスを利用し、保護者、利用児の状況確認を行っています。	
	24	<u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3		・自立支援と日常生活の充実のための活動：自身の心身が自立してコントロールできるよう感覚調節機能の向上を主とした活動を提供しています。 創作活動：遊具の組み合わせや遊びのルール作り等、創作的な発想を生かす事、またトライアンドエラーを通じてさらなる創造を行う機会を提供しています。	無効票：2 →勤務時間の都合上、放課後等デイサービスに関わっていない職員や、現段階で計画書をたてていない職員より「わからない」との意見がありました。今後、共有しながら進めていきます。
	25	<u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			・無効票：1 →対応としては、同上
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・サービス担当者会議が開かれた際には、担当者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・必要度に合わせ、園や学校等と連携しています。 ・モニタリング毎に相談支援員さんと連携を行ったり、必要度に合わせながらも、市各課、園や学校との連携をする機会を増やしています。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3		・連携して情報共有し、必要に応じて助言等を受ける機会を設けています。	無効票：2 →担当児の必要性による機会がなかった一部職員より「わからない」との意見がありました。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・設けていません。通所支援事業の中でも、役割分担があると捉え、当事業所は利用児・保護者への支援にリソースを割いています。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・利用毎にフィードバックの時間があり、こどもの発達の状況や課題、働きかけの共通理解を更新しています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・年2回市でペアレントトレーニング実施。保護者へ、ペアレントトレーニングの効果の説明や、参加の促しや、受付や掲示板にて告知しています。	
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・スムーズな移行を目指し、所属園と事業所間で児童の様子や、支援の状況、必要な働きかけの共有を相互理解すると共に、本人の困り感の軽減や、思いが叶う為の支援内容の検討を行っています。	無効票：1 →担当児の必要性による機会がなかった一部職員より「わからない」との意見がありました。
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・必要に応じてサポートファイルを作成し、情報共有と相互理解を図っています。	無効票：1 →対応としては、同上
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<u>【児発センターのみ】</u> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<u>【放デイのみ】</u> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・学校からはHPを通じて年間予定を共有している。送迎を行っていない為に、特に連絡調整は行っていない。	無効票：1 →勤務時間の都合上、放課後等デイサービスに関わっていない職員より「わからない」との意見がありました。今後、共有しながら進めていきます。
	38	<u>【放デイのみ】</u> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	・就学相談前に機会を設けています。 ・保護者からの要望や、必要に応じて園や他事業所に訪問し、情報共有や、支援内容等の共有・相互理解に努めています。	無効票：2 →対応としたは同上
	39	<u>【放デイのみ】</u> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	・対象がいないので実施していません。	無効票：1 →対応としたは同上



	40	<u>【放デイのみ】</u> （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	・三田市においてはこども部門を司る自立支援協議会が設置されていません。通所事業所連絡会が有志で行われており、ここで上がる課題を自立支援協議会に設置されている相談支援連絡会に共有するようにしています。	無効票：1 →対応としたは同上
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に、利用契約書、重要事項説明書を通じて行っています。また質問があった際には、随時丁寧に説明を行っています。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・モニタリング時に、保護者の主訴や子どもの様子から、意向を確認する機会を設けています。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・計画書を示しながら行い同意を得ています。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・支援毎にフィードバックを行い、話を伺ったり相談の機会を作っています。また必要に応じて、事業所内相談を行っています。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・市開催のペアレントトレーニング時に保護者同士の交流する機会を設けています。 ・イベントを通じて、交流の機会となるように活動を参加型にする等、兄弟児も参加可能としています。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・重要事項説明書にて、苦情窓口を周知している。またあった際には迅速に担当である管理者が迅速かつ適切に対応しています。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・Instagramを通じて活動内容を発信しています。  ・Instagramを通じて活動内容を共有している。また、通知アプリでは必要な情報を適宜発信している。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・重要事項説明書、個人情報使用同意書にて同意を得ることで留意しています。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・説明の際は原則紙面にて行っている。兎にたいしては、発達段階や障害の程度に合わせた伝達を行っています。	
非 常 時 等 の	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・社会福祉協議会に通じて、地域住民に対して研修会を周知しています。研修会の内容に事業所の運営内容を含める事で、開かれた運営になるように進めています。	
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・フィードバック時に話を伺ったり改めて時間を設けたりするなどの相談支援を行っています。	無効票：1 →勤務時間の都合上、放課後等デイサービスに関わっていない職員より「わからない」との意見がありました。今後、共有しながら進めていきます。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・災害や不審者対応の各マニュアルは策定し、職員で研修訓練を行った後に再度検討しています。また、訓練報告を通じて家族に周知を図っています。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・BCP策定済み。訓練を行っています。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	・利用登録の際の発達記録に記入していただいています。	・今後、職員間での徹底に努めていくと共に、必要の応じて研修も行っていきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・利用登録の際の発達記録に記入していただいています。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・月1回遊具点検を行い、各部屋や遊具の安全チェックを行っています。 ・毎週遊具研修の際に、遊具の特性を知ると共に、危険予知を高める取り組みを行っています。	

対 応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・安全計画に基づき、訓練報告を通じて家族へ周知しています。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・毎週のミーティングの際に有無の確認や情報共有を行い、再発防止策や対処方法を話し合っています。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・職員全員が研修に参加し、適切な対応が行えるように努めています。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・身体拘束について研修しています。 ・身体拘束を行う必要がある場合、計画書に記載した上で、子どもや保護者に十分に説明・了解を得たうえで実施し、その際は持続して行う必要性があるのかの再検討を、都度職員間で行うこととなっています。	